

国際宅配便で
発送しました



R3年4月29日

オンラインで贈呈式、交流会を開催

コロナ禍の中、たくさんの手作りの品が集まりました。国際宅配便を利用して、ポカラの母子友好病院へ帽子(150個)、産後の下着(160枚)、ぬり絵のカードなどを送りました。

到着後、ポカラ友好病院と駒ヶ根をオンラインでつないで、贈呈式と交流会を開きました。ディキ看護師長さんからは、日本からのプレゼントが大変喜ばれていること、大いに活用されている様子が紹介され、参加者の皆さんからは、「帽子の大きさは大丈夫ですか?」「T字帯のゴムの長さは?」などの質問が出されました。それに答えて「帽子もT字帯もサイズは問題ない、T字帯のビニールをもう少し長く当ててほしい」という生の声を聞くことが出来ました。

集まってくださった皆さんは、自分の編んだ帽子やT字帯が、ポカラで役に立っていることを実感されたことと思います。



最初に帽子作りに
取り組んでくださった
皆さん

飯島町石楠花苑の皆さん
佐久手仕事の会の皆さん
町三区サロンの皆さん
フラワーハイツの皆さん

産後の下着で快適に

ネパールでは、お産の翌日には退院します。産後に下着を身につける習慣がありません。「何とかならないだろうか?」の問いかけに伊那谷スタイルの皆さん、助産師の皆さんが知恵を出し合い、T字帯を工夫して、内側にビニールを縫い付けて、下着を作りました。今は、多くの皆さんが関わってくださっています。



産後の下着づくりに取り組むマヤの会の皆さん

浴衣を
ほどいています

ネパールの風 第4号

2021年6月 発行責任者 小松原繁樹

「トピ(帽子)プロジェクト」4年目に!

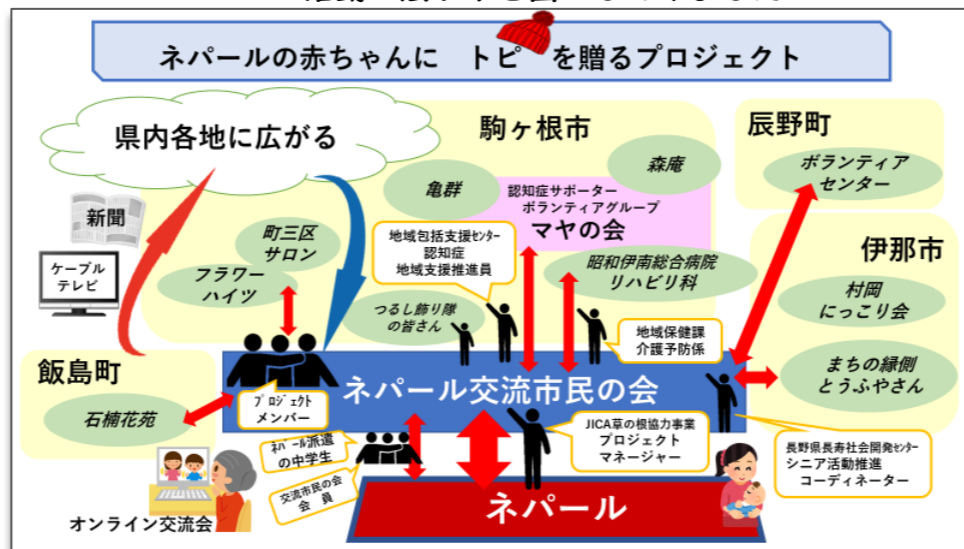
2017年の秋にこのプロジェクトを始め、4年目になりました。

最初は会員の知り合いにお願いして仲間になっていただきました。その活動が新聞に取り上げられ、帽子を編んで下さる方、毛糸を提供くださる方からの問い合わせが県内各地より増えました。それから、この活動は、市内のフラワーハイツや地域のサロン、飯島町の石楠花苑にも広がっていきました。

認知症地域支援推進員の安部さんが、マヤの会を中心に、亀群や森庵の皆さんに活動を広めてくださいました。お元気な方はもちろん、認知症や要介護となられても、高齢者が役割を持ち社会との繋がりを作っていただける素敵な活動になっています。

シニア活動推進コーディネーターの藤井さんが、伊那市のまちの縁側とうふやさん、村岡にっこり会、辰野町のボランティアセンターの皆さんへ活動を紹介していただき、さらに大きな活動の輪が出来ました。昭和伊南総合病院でも、退院前のリハビリの一環として取り組んでくださっています。

~活動の広がりを図にしてみました~



現在、このプロジェクトに係わってくださった方は **300** 人以上、

集まった帽子の数は **3000** 個を超えております。

帽子や折り鶴など、会員がネパールを訪問する時に、段ボール箱に詰めて運びました。また、ネパール派遣の中学生、ネパールへ旅行する会員にも帽子を運ぶ助けをしていただきました。しかし、コロナが拡大した昨年2月以降は渡航が出来なくなり、今年2月ようやく国際宅配便を1箱送ることができました。これからも皆さんの心のこもった手作りの品をネパールへ届ける方法を考えていきたいと思っております。

国際宅配便
140サイズ 20K
送料 20,450円

いきいき中高年社会貢献活動支援事業助成金を申請

『トピ(帽子)プロジェクト』の活動資金を助成していただくためのプレゼンテーションをオンラインで行いました。長野県長寿社会開発センターの審査員の皆さんから、「"コタツからの国際交流"ができています」「多くの人とのつながりを大切に、活動の広がりをみせていることが素晴らしい」と、とても温かい評価をいただきました。

~伊那市や辰野町へ帽子作りの輪が広がりました~



【伊那市】まちの縁側とうふやさん・村岡にっこり会さん【辰野町】ボランティアセンターさん
辰野のボランティアセンターには、新聞で取り上げられたこともあり、たくさんの毛糸や帽子が届けられています。



【駒ヶ根市】亀群(かめむら)・森庵(もりあん)・つるし飾り隊の皆さん

編み物の苦手な方も、毛糸のカセを玉に巻き取ったり、折り鶴やぬり絵のカード作りに取り組んでくださっています。女性ばかりでなく、男性の皆さんも参加されています。

「赤ちゃんの帽子は小さくて可愛くてすぐに編めるから楽しくて」「赤ちゃんがかぶっている姿を想像してうれくなる」

このプロジェクトへの取り組みは
私たちに“幸せ”を感じさせてくれます
私たちのマヤ(ネパール語で愛)を
ネパールへ届けましょう!

